



# あさひヶ丘

医療法人積仁会 旭ヶ丘病院広報誌

2016年  
夏号  
Vol.9

〒350-1211 埼玉県日高市大字森戸新田99-1 TEL 042-989-1121 FAX 042-989-6621

「表紙写真はひまわり」

## 2016年夏号・目次

介護療養型老人保健施設

あさひヶ丘

訪問看護サービス

あさひヶ丘訪問看護ステーション

指定居宅介護支援事業所

あさひヶ丘ケアプランセンター

副院長就任のご挨拶	2P
診療科目・医師の変更について	2P
診療報酬改定について	3P
委員会の紹介	4・5P
<b>あさひヶ丘ニュース</b>	
[消防訓練・看護の日]	6P
<b>知って得するシリーズ</b>	
[食の便り、お薬Q&A、訪問看護ステーション]	7P
健康管理部からのお知らせ「特定健診について」	8P
リハビリテーション科コラム「起き上がりの介助方法」	8P
「相談しよう・そうしよう」	8P



ホームページでは、  
広報誌あさひヶ丘のバックナンバーを  
スマホからでもご覧いただけます。  
<http://sekijinkai.or.jp/>



# 副院長就任のご挨拶

このたび、4月1日付けで副院長に任ぜられ、大変恐縮し身の引き締まる思いでございます。

高齢社会の現在、医療を取り巻く環境も大きく変わりつつあります。2025年には75歳以上の高齢者が国民の4人に1人となる超高齢社会の到来が懸念されます。その中で、国の医療費削減政策や医師不足などが問題となっています。

病院スタッフ一同、「真摯に、一生懸命、誠実に」を心に日々頑張っております。

至らぬ点、多々あるかと存じますが、皆様のご協力ならびにお力添えをいただければ幸いです。

今後ともよろしく願いいたします。副院長 山邊 文夫



# 診療科目・医師の変更について

地域の皆様・患者様にとって、ますます受診しやすい病院を目指して行きたいと思っております。気になる症状等ございましたら、お気軽にご相談ください。なお、新しい医師の着任に伴いまして担当表が一部変更となっております。ご確認をお願い致します。



■ = 新任医師

医療法人積仁会 旭ヶ丘病院 外来診療担当医表 平成28年5月7日現在

診療科目		月	火	水	木	金	土
内科	午前	白須	吉本	内山	四宮	志貴	内山
		山邊	山邊	三村	植村	三村	太根
		太根 9:30~		太根			
	午後	白須	吉本	内山	四宮	小坂	
		植村	志貴 15:00~				
外科	午前	矢島	原	合川	細川	上野 9:30~	西嶋
	午後	高木	原	合川	吉田	上野	
乳腺	午前				細川	太田教授	
	午後				吉田 ※予約制	太田教授	
整形外科	午前	小川原	小川原	岩田	小川原	岩田	第2,4小川原
	午後						
脳外科	午前			山田			
	午後			山田			
皮膚科	午前	浅見				星野 9:30~	
	午後	東郷 15:30~					
小児科	午前	元川	元川	元川	元川	元川	元川
	午後	元川	元川	元川		元川	
婦人科	午前				石原教授		
泌尿器科	午前					花島	

# 診療報酬改定について

平成28年4月1日から

## ●入院時の食費の負担額が変わり、新たに調理費の負担が追加されます

(入院時1食あたりの負担額)

区分	平成28年 3月31日まで	平成28年 4月1日から	平成30年 4月1日から
① 一般の方	260円	360円	460円
② 住民税非課税の世帯に属する方(③を除く)	210円	負担額の引き上げは行いません	
③ ②のうち、所得が一定基準に満たない方など	100円	負担額の引き上げは行いません	

※②、③に該当する方は加入されている医療保険の保険者が発行する減額認定証を、被保険者証等に添えて医療機関の窓口へ提出してください。負担額が上表中の金額に減額又は据え置かれます。

## ●湿布

外来患者様に対して、湿布の処方量が1処方につき、原則、70枚までとなりました。(但し、貼付部位が複数の場合はその限りではありません。)

## ●訪問診療の費用について

\*月1回訪問 1ヶ月の負担金額

負担割合	平成28年3月31日まで	平成28年4月1日から
1割	約1,000円	約3,000円
3割	約3,000円	約8,000円

\*月2回訪問

1割	約5,000円
3割	約14,000円

※お薬は、院外処方となり、薬代は別途かかります。  
※同一世帯で同日に訪問診療を行う場合は、負担金額が異なります。



## 消防訓練を実施しました

今回の訓練では、消防署への通報、初期消火、避難誘導訓練に加え、煙体験ハウスを使用した訓練を行いました。消防署の方から、火災の際一番恐ろしいのは実は煙であり、その煙を吸わないよう姿勢を低くして、壁伝いに歩くようご指導頂きました。実際体験してみると、視界を完全に遮るほどではないものの、充満する煙で咳き込む職員もいました。貴重な体験をし、改めて訓練の大切さを実感しました。



## 看護の日

毎年5月12日は、フローレンス・ナイチンゲールの誕生日、看護の日です。

今年も地域の皆様に、医療・看護への理解と関心を深めて頂くと共に、健康な生活を送って頂くよう開催を致しました。

バザー等多くの方々に参加頂き大盛況でした。

来年も皆様のお越しをお待ちしております。



## 食の便り

# 夏のお供に…冷麦とそうめん



「夏の暑さで食欲が無くなる。」そんな夏バテにそうめんを食べる人も少なくないでしょう。ところで、冷麦とそうめんの違いを知っていますか？

見た目はとても似ていますが、実は製法やカロリーに違いがあります。

製法

カロリー(100g中)

冷麦 小麦粉+塩+水を練って延ばす

約340kcal

そうめん 小麦粉+塩+水を練った後、油を塗って引き延ばす

約370kcal

※現代では機械製法、手延べ製法により差が生じます。



サラダそうめんや、オリジナルのつけダレなど、食べ方を工夫して夏を乗り切りましょう!

## 「薬のQ&A」シリーズ⑨

### Q9 薬を飲み忘れてしまったら？

A

決められた時間からさほど経っていない場合は、気付いたときにすぐ服用しましょう。次の服用時間に近い場合、飲み忘れた薬は次回分の薬として服用してください。一般的に1日3回服用する薬は4時間程度、1日2回服用する薬は6～8時間程度の服用間隔をあげるが必要とされています。副作用の危険が高まる可能性がありますので、決して2回分を一緒に服用することはしないでください。

薬の飲み忘れは、朝食後、昼食後、夕食後の中で、昼食後が一番多いとされています。日中に外出していて、そのまま服用を忘れてしまうことが多いようですので、十分にお気を付けください。

## こんにちは、訪問看護です

訪問看護ステーションでは訪問リハビリを行っております。

訪問リハビリテーションとは、病気や障害などで通院が困難な方のために、理学療法士や作業療法士などがご自宅を訪問し、リハビリを行うサービスです。病院などの訓練室で行われている一般的に思い浮かべるような、筋力トレーニングなどは少し違います。自宅で安全に生活できるように状態や自宅環境に応じて実施するので、個別性が高く、ひとりひとり内容が異なります。

利用者様やご家族様の、こんなことが楽にできるようになりたい、こんな生活がしたい、などのそれぞれの目標に合わせてリハビリを実施しています。

### \*リハビリをされた方の体験談\*

本人：病院を退院してから4か月間訪問リハビリを続けて、最初は思うように動かなかった手足もだんだんと動かせるようになってきました。リハビリの成果を感じられるので、自信につながっています。

家族：和やかな雰囲気です。楽しくリハビリをしているので本人も意欲的に行っています。本人に合わせてリハビリをして、私たち家族にも介助の仕方などわからなかったこともひとつひとつ教えてくれるので、安心しています。

\*健康問題や介護でお困りの方はお気軽にお問い合わせください！  
TEL 042-989-7180(直通)



# 特定健診受付中!

健康管理部からのお知らせ



ご自宅に受診券が届いたら、健康づくりに役立てるため、ぜひ特定健診を受けましょう!  
健診日程をご予約いただき、健診当日には『特定健診受診券』と『保険証』をお持ちください。  
受診券には有効期限がありますので、早めの受診をお勧めいたします。また、保険証が新しく  
切り替わった場合、新しい受診券が必要になりますのでご注意ください。

毎年10月～12月は大変混み合いますので、  
それ以外での受診をお勧めします

ご予約・お問い合わせ先  
西館1階 健康管理部  
042-989-0650(直通)

## リハビリテーション科コラム

### [起き上がりの介助方法]

～介助の手順～

仰向けに寝ている本人に、起き上がってベッドの端に座ってもらう介助方法です。この動作は、食事やトイレや入浴など、ベッドから離れる際に必ず必要な基本的な動作の一つです。

①



両腕を組んでもらい両膝を立てます。本人の膝・臀部・肩の順に手を添えゆつくりと膝、肩を倒します。

②



首から肩に手を入れ、肩と膝を支えます。

③



この原理で、臀部を軸にして、本人の頭が弧を描くように、肩と膝を支えて起こします。

④



端座位になったら、前後左右に倒れないように、身体を支えます。本人に両手をしっかりついて身体を支えてもらい完了です。

\*負担のかからない介助方法を身につけましょう。お気軽にご相談下さい。

### 「相談しよう・そうしよう」



他の病院から転院を考えたい・治療費の心配がある・訪問診療を利用したい・介護保険制度や身体障害者制度について聞きたい等、患者様やご家族の入院・治療・療養に関するあらゆる疑問・相談に専任の医療ソーシャルワーカーがお応えしております。

お問い合わせ: 地域医療連携室・医療福祉相談室  
042-989-8624(直通)

救急指定・労災指定

医療法人積仁会

# 旭ヶ丘病院

<http://www.sekijinkai.or.jp/>

〒350-1211 埼玉県日高市大字森戸新田99-1  
TEL 042-989-1121 FAX 042-989-6621

外来診療受付時間

平日8:00～11:30・13:30～16:30 土曜8:00～11:30

午前の診療は9時から 午後の診療は14時からとなります。

土曜日午後及び日曜日・祝日は休診

## 委員会紹介

医療の質を向上させるため、当院では17の委員会を設置し、医師や看護師、コメディカルによって様々なテーマについて、話し合われております。委員会は次の通りです。

- ①運営委員会、②療養病棟運営委員会、③NST委員会、④外来救急運営委員会、⑤医療ガス安全管理委員会、⑥安全衛生委員会、⑦褥瘡対策委員会、⑧院内感染防止対策委員会、⑨医療安全対策委員会、⑩防火・防災委員会、⑪輸血療法委員会、⑫広報サービス委員会、⑬薬事審議委員会、⑭教育研修委員会、⑮情報保護管理・倫理委員会、⑯外来運営委員会、⑰業務分担推進委員会

今回はそのうち4つの委員会をピックアップしてご紹介したいと思います。

### 療養病棟委員会

療養病棟委員会は、患者様の療養生活のサービスのためのレクリエーションの提供、安全で安心した療養生活が過ごせるように環境を整備する、という目標のもと活動しています。

本年度は、毎年恒例となった夏祭り、ホットサンドさんによるコンサート、クリスマス会、豆まきの他にも、療養環境の質を高め、患者様の満足度が向上するための、新たな取り組みを計画中です。



### 医療安全対策委員会

医療施設においては、常に患者さんの治療のために最善の努力をしております。しかし、最近は医療施設において不幸にして医療事故が発生することが報道され、社会問題となっております。

医療事故とは、医療を受ける過程で、本来の疾患や外傷ではなく、医療行為により健康障害を生じることです。

以前に比べて医療事故は増加しているのでしょうか？これはかなり難しい質問です。

現在は、医学の進歩に伴い治療できなかった疾患が治療可能になってきました。しかし、それだけ患者さんに対して行う処置・投薬・手術は、過程や種類が多く、しかも多数の医師・コメディカルが関与することになります。そのため間違いが起こるリスクは増加することになります。以前は実数が把握されていなかったこともあり正確な比較は困難ですが、医療事故に関する訴訟や裁判件数は明らかに増加しています。

従って、医療施設では医療過失や過誤に基づく医療事故をゼロにすることと、それ以外の事故に関しても万が一発生した場合には、適切に対応できる体制を整えておく必要があります。

当院では、医療事故ゼロを目指す安全な医療を提供するために医療安全対策委員会を設置しております。医師や看護師だけでなく薬剤師、臨床検査技師、診療放射線技師、栄養士、理学療法士、事務系職員など院内のすべての部署から選出された委員で構成されています。

委員会では、毎月医療事故には至らないニアミス事例、ヒヤリとした事例(これらをインシデントと言います)を集積して、これを解析し、新しい安全対策の具体案を作成します。さらにこれを現場に戻し、その効果を判定する、という作業をくりかえしながら日常の医療事故防止に努めております。その他にも、医療安全対策に関する講習会を定期的に行い職員全体への啓発を行っております。

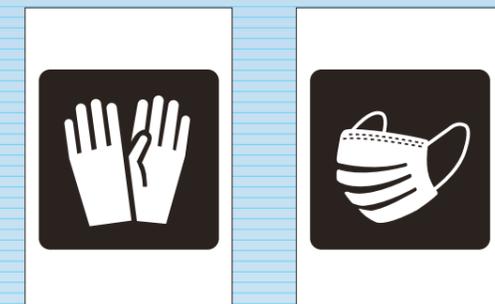
### 院内感染防止対策委員会

当院の「院内感染防止対策委員会」は平成13年より継続的に会議を実施し、まもなく190回を迎えます。現在高木院長、細川医師(委員長)、看護部長、各病棟や外来の看護師、手術室、栄養科、薬剤科、検査科などが、委員会に出席し、議論しております。

本委員会では一度流行すると爆発的に感染が広がる可能性のあるインフルエンザウイルスやノロウイルスのような微生物感染拡大対策を講じております。全国のどの地域で流行しているかチェックして、早期に対策できるよう尽力しております。

医師が迅速な対応を行えるよう、本委員会は、各病棟別のMRSA(メチシリン耐性黄色ブドウ球菌)や緑膿菌などの発生状況や動向を把握し、定期的に報告しております。また、細菌培養検査の結果をチェックし、多剤耐性菌の感染拡大を未然に防ぐ一助となっております。

院内感染防止対策委員会では、毎年職員全員を対象とした講習会の企画・実施を行い、常に最新の感染予防方法を職員に周知させる機会を提供しております。また、適宜感染対策マニュアルの見直しを行っております。



### 教育委員会

教育委員では、看護部はクリニカルラダーを導入し個人の能力に合わせて目標を設定しています。

また、ラダーレベルに合った院内研修会を年間を通して計画的に開催しています。

新入職者に対しては業務に対する不安を軽減できるよう、入職1週間は集中的に業務に必要な知識と技術を習得・再確認できるように研修期間を設けています。子育てなどでブランクがある方でも安心して業務に臨める環境づくりに心がけています。

